

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面

◇ 近プロカリキュラム編成講座
◇ 第6回臨採者学習会 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp

発行人：西村恭介 編集人：岩本明秀

8/10、11 公務員連絡会、人事院勧告の取扱いについて 国家公務員制度担当大臣、厚生労働大臣に要求書提出

2021年8月10日

内閣総理大臣

菅 義 偉 様

公務員労働組合連絡会
議長 武藤 公明

本年の人事院勧告・報告等に関わる要求書

常日頃、職員の職務環境の整備や待遇改善にご努力いただいていることに敬意を表します。

さて、人事院は本日、月例給の改定は行わない一方で、一時金の支給月数を0.15月引下げ、年間4.30月とする給与に関する勧告と公務員人事管理に関する報告、国家公務員の育児休業等に関する法律の改正についての意見の申出を行いました。

一方、新型コロナウイルス感染症対策という国民生活における喫緊かつ最重要な課題への対応をはじめ、発災から10年が経過した東日本大震災からの復興や近年多発する大規模自然災害への対応・対策など、職員の懸命な奮闘が続いています。

しかし、恒常的な要員の不足により、長時間労働が蔓延するなど厳しい状況は改善されておらず、職員が安心して働くことのできる職場環境の整備や適切な要員と賃金労働条件の確保が必要です。

貴職におかれましては、職員が意欲を持って職務に精励し、国民の期待に応えられるよう、下記事項の実現に向けて最大限努力されることを要求します。

記

勧告の取扱いを検討するに当たっては、公務員連絡会と十分交渉・協議し、合意すること。

以上

公務員連絡会は、人事院報告・勧告、意見の申出が10日に行われたことを受けて、河野国家公務員制度担当大臣、田村厚生労働大臣に対し、勧告及び意見の申出の取扱いに係る要求書(左記)を提出しました。要求書提出の経過は以下のとおりです。

◆国家公務員制度担当大臣への要求書提出の経過

(10日13時、委員長クラス交渉委員出席)

冒頭、武藤議長は、次のとおり要請しました。

①勧告の取扱い及び育児休業等に関する法律改正の検討にあたっては、われわれ公務員連絡会と十分に交渉・協議し、合意に基づく対応を求める。

②河野大臣には、超過勤務手当の全額支給をはじめ、長時間労働の是正にむけて強力にリーダーシップを発揮していただいております。大変心強く感じます。われわれは組合の立場で、現場において労使がともに責任をもって、「真に超過勤務の縮減」がはかられるようにとりくんでいく。これまで以上

に、政府との間でも、実効性確保にむけた建設的な議論を行っていききたい。

③第204通常国会において、国家公務員法等の一部を改正する法律案が可決・成立し、長年にわたる課題であった定年の引上げが実現することとなった。今後は、円滑な定年引上げの実現をはかることが課題となる。大臣におかれては、本日のわれわれの要求事項の実現をはじめ、すべての職員が意欲を持って職務に精励し、国民の期待に応えられるよう、適切な賃金・労働条件の確保や要員の確保にむけて最大限のご努力をお願いしたい。

これに対し河野大臣は次のとおり回答しました。

①公務員の方々が国民全体のために献身的に職務に当たられていることに対し、敬意を表する。

②本日、人事院から給与改定に関する勧告が提出された。これを受けて、その取扱いの検討に着手した。

◆厚生労働大臣への要求書提出の経過

(11日10時35分、委員長クラス交渉委員出席)

冒頭、武藤議長は、要求の趣旨を説明し、「労働行政を所管する大臣におかれては、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保など、官民共通の課題の解決にむけた積極的な対応を求めるとともに、われわれの要求事項の実現にむけて最大限の努力を改めてお願いしたい」と求めました。

これに対し田村大臣は次のとおり回答しました。

①新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、日々奮闘いただいております。感謝申し上げます。

②本年の人事院勧告では、ボーナスについては引き下げるものの、月例給については改定を行わないことについて勧告されたところである。

③この人事院勧告については、現下の経済・雇用情勢を踏まえ、様々な角度から真剣かつ慎重な検討が加えられ、出されたものであると認識している。

④昨日の給与関係関係協議において、国家公務員の給与の取扱いについて協議が開始された。私としては、人事院勧告制度を維持・尊重するという基本姿勢に立ち、国民の理解を得られるような結論を得るよう、関係閣僚間で誠意をもって検討を進めてまいりたい。

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

2021年度 第26回日教組近畿ブロック カリキュラム編成講座

8月6日(金)、リガール春日野(奈良)において、第26回近畿ブロックカリキュラム編成講座が開催されました。感染症拡大防止の観点から対面での参加者を絞り、オンライン併用で実施しましたが、近畿ブロック各単組から対面・オンライン合わせて100人を超える組合員が参加しました。兵高教からはB分科会で船脇吉広さん(高等特別支援分会)が報告を行いました。

◆全体会

冒頭、近藤伸一奈良県高教組執行委員長より開催意を代表してのあいさつがあり、続いて基調提案が行われました。また、古賀ちかげさんよりオンラインで激励のメッセージが寄せられました。

- ◆B分科会「インクルーシブ教育をめざした学校・地域づくり」
- ①「高校通級の現状と課題」

船脇吉広さん(兵高教・高等特別支援分会)

兵庫県教育委員会の「事例報告集」と通級担当者の意見をもとに、兵庫県の高校通級の現状と課題について報告し、協議しました。

- ②「言ってもどうせわからへん」思いを伝え合ったために」

岩崎由佳子さん(大阪教組・泉佐野市立北中小学校)

5年生の春に出会い、2年間担任した児童との関わりと、その児童と周囲のなかまの変化・成長の記録を報告し、協議しました。

- 共同研究者(一木玲子さん)によるまとめ

「通級」指導が「その時間はリハビリに行く」ようなかたちになることを危惧する。インクルーシブの観点からは「授業をどう変えるか」「子どもたちとの関係をどう捉えればいいのか」などを教員間で共有し、上げていくことが必要。また、通級を受けることがマイナスイメージでとらえられることのない社会を創らなければならない。

障害に関係なく、子どもたちの話を聞いて、いねいに聴く学校の体制づくりが求められている。子どもの自殺率が上がっている。障害のない子どももいじめられている。インクルーシブは障害のある子どもだけのものではない。インクルーシブな学校づくりをめざす分科会として、障害のない子どもにも必要に応じて対応できる体制づくりに向けてのとりくみの提起ができれば、と思う。



2021年度 第6回臨採者学習会

7月31日(土)午後、神戸市教育会館にて、第6回臨採者学習会「採用試験対策講座」を開催しました。今回も感染症拡大防止の観点から、オンライン併用としました。

一次試験の結果発表を控え、二次試験に向けて個人面接および模擬授業の練習を中心に行いました。面接官役として青年層の組合員のみなさんにも協力していただきました。

なお、この日の参加者のみなさんは全員二次試験に進まれました。二次試験受験者については、8月5日から個別練習会を行っています(原則組合員対象)。面接試験後の報告では、「練習とほぼ同じ内容の質問がほとんどで、落ち着いて応答できた」等の感想が寄せられています。

第24代高校生平和大使

宝塚市長表敬訪問

8月2日(月)午後、第24代高校生平和大使の岡本美里さん(小林聖心女子学院3年)が山崎晴恵宝塚市長を表敬訪問しました。

平和大使としての決意、自身の「平和観」、今後のとりくみ等について力強く語りました。山崎市長からは「身近なところから平和な社会に向けて行動していこう」という強い思いが伝わった。頼もしく思う。今後の活躍を期待し、応援していきたい」とと激励の言葉がありました。五十嵐教育長からも「宝塚市は平和教育を大切にしている。小中学生に対して話をしてももらえる機会を作りたい」との提案がありました。



兵庫選出の第24代高校生平和大使とサポートチームがWebサイトを開きました。

<https://youthpeacemessenge.wixsite.com/heiwa>

彼ら自身の言葉で平和への思いや活動について発信しています。



「教育費負担を軽減するための政策減税を求めるオンライン署名」にご協力を♪

11/30 締切

日教組はこれまで、高等教育等の給付型奨学金制度の推薦要件緩和や無利子型奨学金の拡大等、奨学金の充実や学費等の減免制度改善にむけ、連合・中央労福協と連携し、文科省・政党要請等のとりくみを行ってきました。

今回、中央労福協で上記のとりくみが進められています。ご協力をお願いします。

URL: <http://chnng.it/GQ2cnRd88Z>



留意事項

- (1) 学校のパソコン等は使用しないで、個人所有のものを使用し、勤務時間外に行ってください。スマートフォンからの署名も可能です。
- (2) 請願署名ですので、署名ページの右側に、①名字、②名前、③Eメールアドレス、④国、⑤居住地(市区町村)、⑥郵便番号を入力し、「今すぐ賛同」をクリックしてください。
- (3) 右下の「2つのチェックボックスにチェックを入れる」(自分のアドレス名等を表示するなど)は、任意とします。チェックを外しても、請願署名をすることは可能です。
- (4) 「コメント入力」や「寄付」についても、同様に任意とします。

兵高教第32次教育研究集会

10/16 Sat.

「民主社会を支える教育

～多様性が尊重される学校・社会を～」

全体会 10:00~12:30

記念講演 「『私』からはじめる『私たち』の多様性社会」(仮)
三木幸美さん(とよなか国際交流協会)

分科会 13:30~16:30

第1分科会「今日の教育課題」

第2分科会「日々の授業づくり」

神戸市教育会館4階



お問い合わせは...

兵庫高等学校教職員組合

神戸市中央区中山手通 4-10-5

神戸市教育会館

☎ 078-261-0829

✉ hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp